

日本には、約5万種類の動物が住んでいます。そして、他国にはない島国ならではの、貴重な生物多様性を見ることができます。そういった動物の中には、毒を使って獲物を捕まえたり、毒があることで他の動物に食べられずに生き残ってきたものもいます。

私たちが、毒をもつ生き物から身を守るためには、どこにどのような生き物がいるのかを知ること、そして毒をもつ生き物に出会った時には、刺激したり怖がらせないようにすることが大切です。

ここで紹介している生き物を見つけたら、さわらず静かにその場を離れましょう。

また、近くにいる大人に毒をもつ生き物を見つけたと伝え、対応してもらいましょう。

万が一、咬まれたり、刺されてしまった場合は、すぐに病院に行きましょう。

マムシ (ニホンマムシ)

種類 は虫類・ヘビの仲間

特徴 日本だけにいる固有種。特定動物(危険な動物)のため、法律で飼うことが禁止されています。

大きさ 体長 40～65cm 牙は5mm

よく見られる時期 5～10月

草刈りやキノコ採り、農作業中に手を咬まれることが多いので、草やぶや山の中に入る時は気をつけてください。そういった場所に行くときは、はだしやサンダルで歩かない、半袖や半ズボンのような肌が多く出る服装はさける、石の下・穴の中に急に手をいれないなどの対策をしましょう!



画像提供:永野 昌博

ヒョウモンダコ

種類 軟体動物

特徴 日本の太平洋側とオーストラリアでよく見られます。

大きさ 体長 約10cm (ハガキの横の長さと同じ)

刺激を受けると「青い輪や線の模様のある明るい黄色」に変化します。

フグと同じ猛毒(テトロドトキシン)を持つとても危険なタコです。

浅海の岩や小石が混じった海底などに生息しているため、海水浴や磯遊び、釣りなど海で遊ぶ時は気をつけてください。見つけても決してさわってはいけません!さわらなければ、危険はありません。死んでも、毒は残るので、食べないでください!



興奮した状態

通常の状態

画像提供:大分県農林水産部 漁業管理課

ムカデ

種類 節足動物

特徴 昼間は草むらや石垣の中、落葉や石や植木鉢の下などに潜っていますが、夜になるとえさを求めて屋内に侵入することもあります。

大きさ 体長 約4～20cm (種類による)

目が退化しているため、ほとんど触覚に頼って生活しています。そのため、動いているものに触れると反応し、頭の下ある額肢で咬みつきます。

生命力が強く、頭部がちぎれた状態でもしばらく生きていることがあるので、死んでいるように見える場合でも絶対に素手ではさわらないでください!



画像提供:泉 海翔

スズメバチ

種類 昆虫類

特徴 人間の急激な動きや大きな音に反応し攻撃してきます。

大きさ 体長 1.5～4 cm (種類による)

被害が起きやすい時期 8月下旬～10月

スズメバチは攻撃的で、巣に近づいただけでおそってきます。また、強い毒をもって
いるため、刺されるととても危険です。家の近く(屋根裏やのき下、庭木の枝など)、自然の中(崖、樹
木の空洞など)に巣を作るので、周辺にハチが飛んでいないか注意しましょう。

スズメバチに刺されないためには・・・

- ① 巣には近づかない
- ② なるべく白っぽい服を着る(ハチは黒いものを攻撃する習性がある)
- ③ においに気をつける(ハチのいる場所ではジュースなどの甘いものを飲まない)
- ④ ハチが近寄ってきたら手で振り払ったりせず、できるだけ静かに身を低くして離れる



スズメバチ

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ

全体が光沢のある黒色で背中
に赤色の模様があります。

お腹や背中部分が真っ黒のものや茶色、
灰色、まだら模様のもなどがいます。



セアカゴケグモ(メス)

種類 クモ類

特徴 特定外来生物(海外からのコンテナなどに紛れて日本に侵入した生き物)

現在、大分市内でセアカゴケグモは確認されていますが、ハイイロゴケグモは確認されていません。
ともに、メスは毒をもちますが、オスには毒がありません。

大きさ 体長 7 mm～1 cm

被害が起きやすい時期 6～10月

日当たりの良い温かい場所で、地面や人工物のくぼみや穴、裏側、すきまなどの低い位置に、不規則な
クモの巣を作ることが多いです。

セアカゴケグモ、ハイイロゴケグモのメスは毒をっていますが、性格はおとなしく攻撃性はありませ
ん。

さわると咬まれることがありますので、見つけた場合は、素手で捕まえたり、さわらないようにしてく
ださい!

セアカゴケグモに咬まれないために、花だんなどに花を植える時は、軍手など手ぶくろを付けて行いま
しょう。プランターや鉢の裏などにセアカゴケグモがいないか注意しましょう。

ヒアリ

種類 昆虫類

特徴 特定外来生物(海外からのコンテナなどに紛れて日本に侵入した生き物)

現在、大分市内では確認されていません。

大きさ 体長 2～6 mm

小さな赤茶色のアリで、土で塚(巣)を作って集団で暮らします。

刺されるとやけどのような強い痛みがあります。

塚を刺激すると集団で刺してくるため、塚を見つけても近づかないようにしましょう!



女王アリ



働きアリ

